

(事前C)

評価委員会総合評価

研究課題名：地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究

評価委員

委員長：田中正之

委員：蒲生俊敬、中島映至、田中 佐、田中 博、渡邊朝生

評価年月日：平成 25 年 11 月 14 日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 ☒ 可 ☐ 否
(2) 修正の必要の有無 ☐ 修正の必要あり ☒ 修正の必要なし

2. 総合所見

本研究は、東アジア、西部北太平洋におけるエアロゾル、オゾン、温室効果ガス等の観測を通じて、当該物質の実態把握と変動メカニズムを解明すると共に、化学輸送モデルとデータ同化・解析技術を駆使して、地球環境の監視・診断・予測技術を高度化し、気象業務の高度化に資することを目的としている。

本研究は、これまで別個に実施してきた大気・海洋観測とモデル・同化技術に関する開発研究を融合したものとなっており、研究の効率的実施と高度な研究成果及びこれらを迅速に業務化することが期待される。

大気モデルに関しては、微量気体、エアロゾル全てのデータ同化を目指す戦略は重要であることから、全球モデル、領域モデルの双方で、大気化学・エアロゾルモデルの整合性を考慮する必要があるほか、大気と海洋の観測及びこれらを統合したデータ同化・モデリング手法の開発をバランス良く実施する必要がある。

本研究は、これまでの一連の研究で得られた成果に基づいた、現実的かつ効率的な計画となっており、想定されている研究成果は十分に達成されることが期待できる。